

16 元離宮二条城を舞台にした各種イベントへの事業協力等

京都市が主催する春の「二条城桜まつり」や秋の「二条城まつり」事業へ協力し、二条城への誘客に努めた。また、イベントを盛り上げるため、京の名産品展を開催した。

- 二条城桜まつり2017 平成29年3月24日～4月16日
- 二条城まつり2017 10月7日～12月11日
- 二条城桜まつり2017：「京の名産品展」 平成29年3月24日～4月15日
- 京の七夕：「京の名産品展」 8月5日～14日
- 二条城まつり2017：「京の名産品展」 10月7日～11月26日

17 オール京都の観光振興会議の運営

平成18年にオール京都により設立された京都観光振興会議の事務局を引き続き務め、府市連携による広域観光の推進をはじめとした、オール京都の協力体制強化について活発な意見交換や協議を行った。

18 マーケティング・調査分析事業

<新規事業>

(1) データの収集分析・情報提供

京都市において毎年実施している「京都観光総合調査」の個票データを借り受けて詳細な分析を行い、政策立案の根拠データとして提供するとともに、観光協会の経営戦略の策定にも反映した。平成29年度は、京都市と連名で分析結果をプレスリリースし、広く周知を行った。

また、市内主要宿泊施設から提供される宿泊者数実績データを集計し、京都の宿泊業界の景況を判断するための統計としてホームページで公表するとともに、関連する公表情報（航空路線、為替など）も集計して毎月掲載し、事業者の経営判断材料の提供を行うことで、京都の観光市場の活性化に貢献した。

更には、京の夏の旅、京の冬の旅などで実施する文化財特別公開箇所におけるアンケートの設計・集計・分析・公表を行い、各種事業の改善を図った。

(2) 調査分析業務の請負

京都市から「宿泊客数算出手法検討及びシステム構築業務」を受託し、延べ宿泊客数の推計システムの開発などを行った。推計結果は平成29年8月に公表され、観光市場における重要指標である延べ宿泊客数の算出が、京都市においても可能となった。

Ⅲ 入洛観光客に対する案内事業 (公益目的事業会計)

1 京都総合観光案内所「京なび」の受託運営

京都総合観光案内所「京なび」の運営業務を同運営協議会より受託し、年中無休で午前8時30分から午後7時まで、年間80万人の相談者に対し京都府内の各種観光案内、宿泊紹介や交通案内に伴う乗車チケットの提供業務等を行った。

相談者のおよそ半数(47.5%)を占める外国人観光客には京都府内の案内業務にとどまらず、日本全域の観光案内・情報発信を、多言語・ワンストップで行い、JNTO認定外国人観光案内所のカテゴリ3に登録されている。

28年度から外国人相談者数が2年連続で減少した一方、日本人相談者がわずかではあるが5年ぶりに前年より増加した。

また27年度後半に設置した来所者の自動カウント機での計測では、2年度連続で150万人を超える数値を記録した。

カウンターでの相談者は減少してはいるもの年間を通じて賑わい、特に秋の紅葉シーズンおよび春の桜シーズンの休日には、カウンターに長い行列ができることから、混雑緩和の取組として、29年度もJR京都駅前広場に臨時観光案内所を開設した。市内各所へのアクセスの案内を中心に秋・春の10日間開設、約2万5千人の利用があった。

○京都総合観光案内所 平成29年度相談者数 803,136人
(28年度 820,888人)

自動カウント機による来所者概数 29年度 1,513,793人
(28年度 1,541,446人)

○臨時観光案内所(京都駅ビル前広場)

平成29年4月	2日間開設	6,055人
11月	5日間開設	13,151人
30年3月	3日間開設	6,455人



2 京都市河原町三条観光情報コーナーの受託運営

京都市より受託し平成28年4月に開設した京都市河原町三条観光情報コーナーにおいて、内外の観光客に対して観光情報や資料の提供等を行った。機能面として単に観光案内だけではなく、多目的スペースを設け、授乳・おむつ交換、礼拝等に対応した。常時英語対応を可能としており29年4月にJNTOの認定外国人観光案内所のカテゴリ2に認定、10月には旅行業の営業所登録をし、会員宿泊施設の斡旋

を開始した。

また、株式会社ぐるなびと連携し、所内に「ぐるなび情報ラウンジ」を開設し、内外の観光客の飲食面の相談に応じ、協会会員の飲食施設を中心に個店の紹介を行った。

○京都市河原町三条観光情報コーナー	平成29年度	来所者	48,602人
		(28年度)	39,639人)
		電話対応	39,766件
ぐるなび情報ラウンジ		相談者数	1,803組
		紹介店舗数	4,799件

3. 各言語観光地図の作成

各案内所において基本的な案内ツールとなる観光地図を作成、観光客への配布のほか、宿泊施設や旅行会社等からの多部数の求めにも応じた。また、外国語版については関西空港・成田空港インフォメーション窓口へ定期的に供給した。

○平成29年度 合計72万部作成

日本語32万部、英語25万部

中国語（簡体字）5万部、中国語（繁体字）5万部、ハングル5万部



4 民間案内所との連携

京都市内の観光案内所運営団体が参画する「京都市内観光案内所ネットワーク会議」（28団体参画）を京都市とともに開催した。市内全体の観光案内機能向上を目指して、各案内所間の情報共有や課題解決に向けた意見交換、研修会を行った。

また、京都総合観光案内所の立地する京都駅については、JR、交通局などのインフォメーション窓口が存在し、各々機能が異なっていることから「京都駅ホスピタリティ向上に関する検討会」を開催し、各インフォメーション窓口間で観光客のニーズに適切な窓口を案内・誘導できるよう、各窓口の機能等の情報共有をすすめた。29年度は特に手ぶら観光推進のために、手荷物預かり所など参加窓口を拡大して開催した。

IV 観光客の利便向上を図る販売事業

（収益事業等会計 [収益]）

1 二条城売店の運営

平成28年3月のリニューアルから2年目を迎えた二条城大休憩所内の売店運営を行った。

物販コーナーでは、二条城限定のオリジナル商品を充実させたほか、新たに、「二条城・伝統の逸品」コーナーを増設し、城内の障壁画や建造物をモチーフとしたオリジナルの伝統産業製品の販売を開始した。

イートインコーナーでは、「京の食文化をトッピングする」をテーマに、



京銘菓・京の製品を使用した二条城限定のメニューを拡充し、来城者ニーズに応えた。

更に、29年度は二条城が舞台となった大政奉還から150周年を迎え、これを記念したプロジェクト事業が開催されたが、当売店においても、大政奉還150周年記念オリジナル商品を取りそろえ、記念事業を盛り上げた。

また、クレジットカードの取扱いや、免税販売の更なる推進を図るとともに、併設する観光案内カウンターでの案内業務や各種観光情報ツールの提供を行うことにより、サービスの向上を図った。

2 各案内所での有料出版物等の販売

観光客の利便に供する出版物（京都トレイル地図等）や交通系チケット、催事入場券等を各案内所で販売した。

V 観光施設等運営事業（収益事業等会計 [収益]）

旧三井家下鴨別邸の管理運営

<充実事業>

重要文化財施設「旧三井家下鴨別邸」の運営を、下鴨神社、三井不動産レジデンシャルサービス関西、曾根造園、当協会の4者で構成する共同事業体「京都市文化財公開施設運営管理事業受託コンソーシアム」として、京都市より受託し、同施設の管理運営を行った。

当協会は同コンソーシアムの代表団体として、来場者の受入誘導や施設の貸出などの指定管理業務を行うとともに、館内でのガイド案内や、庭園を眺めながらの喫茶コーナーの運営、年中行事等に合わせたイベントや文化講座の開催など、施設の魅力の向上を図る自主事業を開催した。更に、夏季と秋季には通常非公開の2階部分を、冬季には3階望楼部分の特別公開を開催した。

○平成29年度実績

入場者数 73,263人（1日平均233人）



VI 共催・後援・会員向け事業（収益事業等会計 [相互扶助その他]）

1 会員勧募

当協会の組織の強化及び拡充を図り、京都を挙げての観光振興を図る推進体制を確立するため、観光関係事業者をはじめとした各界の幅広い分野に対し、年間を通じて積極的な勧募活動を行った。特に29年度は、新規開業した宿泊施設のほか、インバウンド事業の移管に伴い、外国人観光客向けの事業を展開する事業者の入会が目立った。

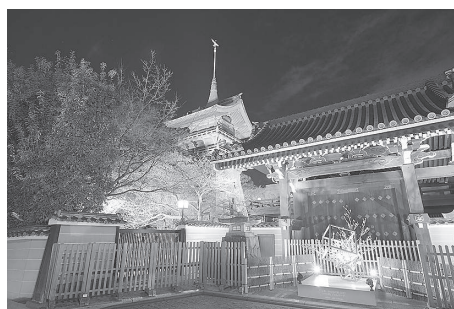
○平成29年定時総会以降の入会件数 50件（平成28年度 50件）

会員総数 1,441件（平成28年度1,416件）

○京都・東山花灯路—2018

開催期間 3月9日～18日 10日間

来場者数 1,010,000人（平成28年度 1,110,000人）



14 三大祭観覧席設置事業及び伝統行事等の執行補助

(1) 三大祭観覧席設置事業と宣伝販売促進

＜充実事業＞

葵祭・祇園祭山鉾巡行・時代祭の京都三大祭当日に有料観覧席を設置し、観光客の快適さ、利便性を高め、京都の魅力を伝えるとともに、旅行会社等へのセールス活動やマスコミ機関等への報道要請を行った。また、各祭をわかりやすく紹介したパンフレットを製作販売し増収を図った。

新たな取り組みとしては、富裕層をはじめとした様々な観覧者のニーズに応えるため、葵祭と祇園祭前祭で、座席位置やサービスに工夫を凝らした最高クラスカテゴリーの「葵祭ロイヤルシート」、「祇園祭前祭辻廻し観覧プレミアム席」をそれぞれ新設した。

これらにより、葵祭、祇園祭では前年につづき販売が好調であったが、時代祭が台風により中止となったため三大祭全体の販売数は前年を下回った。

○三大祭有料観覧席販売実績

葵祭	9,981席	（平成28年度	9,986席）
祇園祭前祭	13,998席	（平成28年度	13,848席）
祇園祭後祭	2,418席	（平成28年度	2,413席）
時代祭	中止	（平成28年度	11,486席）

(2) 四大大行事等の執行補助

京都五山送り火を加えた京都四大大行事について、協賛会事務局の運営を担い、募金活動等を行ったほか、安定した執行および保全を図るために補助金を交付した。

また、主な伝統行事や観光行事に対しても補助金を交付した。



15 京都さくらよさこいの実施

「学生の手で京都を活性化し、元気づける」を通年のテーマに据え、春の観光客誘致、地域の活性化を目的として、「第13回京都さくらよさこい」を実施した。

開催日 4月1日（土）・2日（日）

会場 梅小路公園、岡崎公園周辺など